

## 編集後記

編集長 東野 定律

2019年12月中国で中国の武漢で原因不明の肺炎が起こり、日本でも感染者が確認されてから1年以上が経ち、今、2度目の緊急事態宣言が解除を迎えようとしています。

この1年間は世界中の人々が新しい感染症に振り回された1年であり、社会全体の仕組みそのものが大きく変わりました。

大学においても、4月以降、多くの授業が対面での実施ができなくなり、遠隔（オンライン）で展開され、学生たちの姿もキャンパスで見る機会が少なくなりました。当初は教員も学生も戸惑いが多く、日々葛藤が続く毎日が続きましたが、最近ではオンラインでの授業の授業にも慣れ、メリットもあることから新しい生活様式の中でどのようにこの仕組みを大学教育の中に取り入れていくか問われていくのだと思います。

そのような中、本年度も3月19日に学位記授与式が行われ、本学部から108名の卒業生が新たな門出に向かって、一步を踏み出すことになりました。

未だ感染症終息の目途はたっておらず、世の中が大きな変化をしていくことは予想されますが、急速な社会の変化に順応し、新たな未来へ飛躍されることを心より願っております。

またそのような中、本年度をもちまして金川幸司教授、松浦 博教授の両名におかれましては、定年を迎え退官されることとなりました。金川先生におかれましては研究科長、松浦先生におかれましては学部長と本学部および研究科における要職を担っていただき、多大なる貢献をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

先生方には、まだまだ教えて頂きたいこと、学びたいことが沢山あるような気がしてなりません。今後とも長年の経験から得られた様々な解決策や見識についてご指導ご鞭撻いただけることを切に願っております。

第32号 VOL. 2（2020年3月発行）p2に次の間違いがありましたのでお詫びして訂正いたします。  
（2017年12月）→（2016年12月）